

# VERAの共同利用観測について

VERA users meeting

## VLBI懇談会での議論

- 1998年 VLBI懇談会シンポジウム@鹿児島
  - VERAのアレイ化に向けた議論
  - 4素子2局->2素子4局
- 2000年 VLBI懇談会シンポジウム@水沢
  - VERAの共同利用と今後のJ-Netの進め方の問題提起
- 2001年 VLBI懇談会シンポジウム@鹿児島
  - J-Net+VERAの一体での共同利用観測
- 2002年 VLBI懇談会シンポジウム@三鷹
  - 共同利用観測実現に向けての議論

## 2003年度試験的共同利用観測モード

- 22GHz VERA 2beam
- 22GHz VERA 2beam + NRO,CRL 1beam
- 22GHz VERA,NRO,CRL 1beam

## 2003年度試験的共同利用

- 観測時間 100時間
  - 10観測程度
- 記録モード
  - 128Mbps (16MHz,2bit,2ch)  
    <- NRO、CRLの入る場合
  - 1024Mbps(16MHz,2bit,16ch /128MHz,2bit,2ch )
- データ解析
  - AIPSベースの解析

## 2003年度の審査・実行の方法

- 国内ユーザーにオープン
- VERAチームメンバを1名は入れて観測サポート
- プログラム小委員会での審査
  - レフリーによるレーティングはしない
- 45mの時間アロケーションに関しては、野辺山プログラム小委員会との協議

## 45mとの関係

- 観測時間
  - Max 100時間
- スケジュールリング
  - NROプログラム小委員会とVLBIプログラム小委員会間の調整が必要

## スケジュール

- 2003年10月24日までにステータスレポートおよびプロポーザルカバーシートをweb上に掲載
- プロポーザル〆切、2003年12月1日(月)
- 採択の決定、 2003年12月末
- 観測の実施 2003年2月～

## プロポーザル提出先

- 国立天文台 水沢観測センター 庶務係  
VERA共同利用プロポーザルと朱記のこと
- 〆切 2003年12月1日(月) 必着
- 電子メール・FAXによる提出不可

# VERAデータポリシーについて

- 試験観測・初期観測
  - システムの試験および初期の科学成果を出すために行う観測
- 準備研究観測
  - プロジェクト観測・共同利用観測のために必要な準備観測。結果は、速やかに公表する。(フリッジチェック、校正電波源探査等)
- プロジェクト観測
  - プロジェクトを組んで行うVERAの当初からの科学的な目標を達成する。
  - 長期プロジェクト
    - 3年以上かかるプロジェクト
  - 短期プロジェクト
    - 3年未満のプロジェクト
- 共同利用観測
  - 内外の研究者によるプロポーザルベースの観測

## データの保護・公開

		備考
試験観測・初期観測	相関処理後18ヶ月で公開	データの品質については保証なし
準備研究観測	結果は直ちに公開。データについては結果公開後に公開	
長期プロジェクト	相関処理後24ヶ月は保護、その後は公開	
短期プロジェクト	相関処理後18ヶ月は保護、その後は公開	
共同利用観測	相関処理後18ヶ月で公開	